

D I A M中国A株ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所に上場している中国株に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年12月18日～2019年12月16日

第9期	決算日：2019年12月16日	
第9期末 (2019年12月16日)	基準価額	16,370円
	純資産総額	677百万円
第9期	騰落率	19.0%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

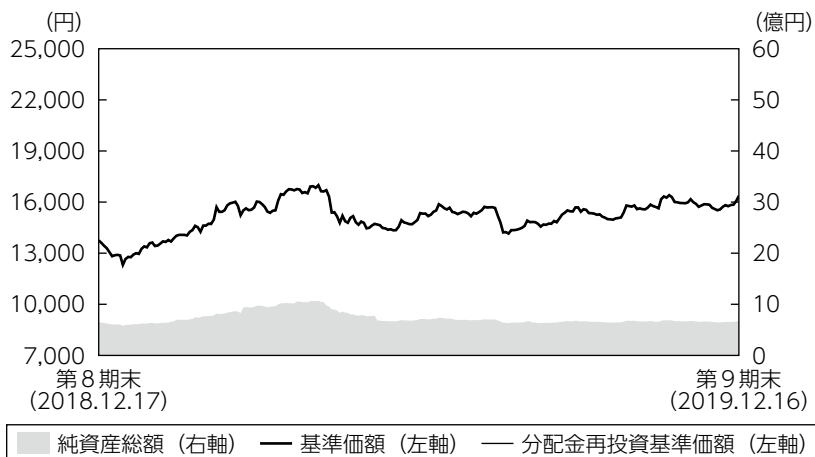
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第9期首：13,753円
 第9期末：16,370円
 (既払分配金0円)
 騰落率：19.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

F R B (米連邦準備理事会) が金融政策を転換したことで世界的に株式市場が上昇したこと、米中貿易協議に一定の進展が確認できたこと、中国国内のテクノロジー、ヘルスケア、生活必需品、一般消費財など好業績となったセクターを中心に中国株式市場が上昇したこと等から、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
D I AM中国A株マザーファンド	24.2%
D I AM中国株式 (除くA株) マザーファンド	13.1%

1 万口当たりの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	(2018年12月18日 ～2019年12月16日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	311円	2.054%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,132円です。
(投信会社)	(147)	(0.973)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(147)	(0.973)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(16)	(0.108)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	29	0.190	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(29)	(0.190)	
(c) 有価証券取引税	15	0.100	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(15)	(0.100)	
(d) その他費用	111	0.731	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(109)	(0.722)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.006)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	465	3.074	

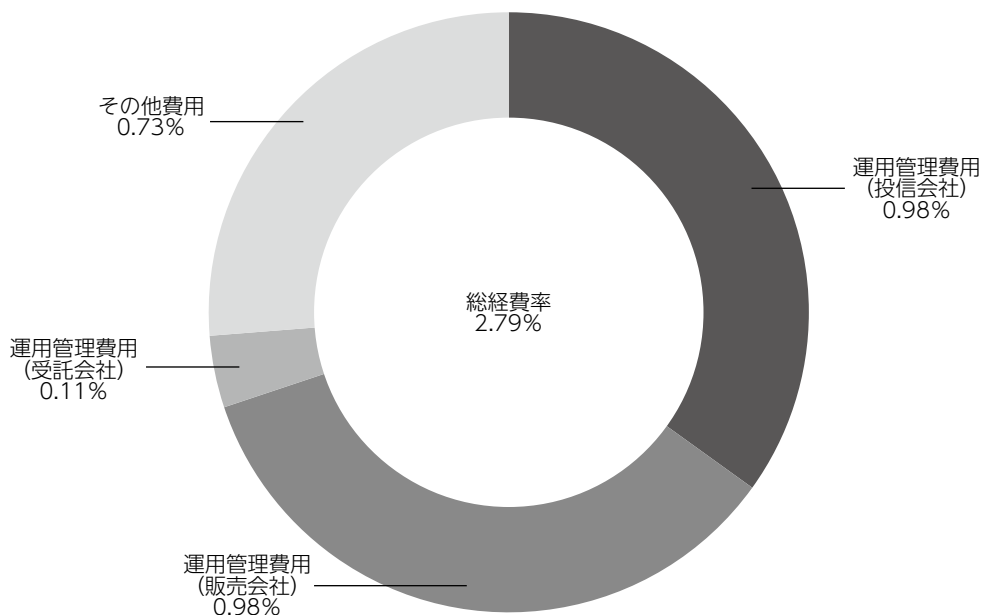
(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)**◆総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.79%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年12月16日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2014年12月16日 期首	2015年12月16日 決算日	2016年12月16日 決算日	2017年12月18日 決算日	2018年12月17日 決算日	2019年12月16日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	15,170	16,117	13,661	17,470	13,753	16,370
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.2	△15.2	27.9	△21.3	19.0
純資産総額	(百万円)	3,213	3,287	747	850	649	677

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

中国株式市場は上昇しました。期初にF R Bが金融政策の転換を表明したことや中国の大型景気対策への期待、米中の景気改善期待等を背景に大幅に上昇しました。しかし、期中に入り、米中の関税引き上げや中国のテクノロジー関連企業への米国による制裁措置等への警戒感から下落しました。その後反発する局面がありましたが、2019年8月には米国政府による対中関税「第4弾」の発動示唆により、再び下落しました。期の後半は米中貿易協議の動向や香港問題をめぐる米中関係、中国の景気動向等の様々な材料が交錯する中で一進一退の推移となりましたが、期末にかけては米中協議に一定の進展が確認できたことでセンチメントが改善し、上昇して期を終えました。

為替市場は円高ドル安の展開となりました。期初は世界的な景気減速懸念等を受けて、急速に円買いが進みましたが、その後、米国株式市場の反発と連動する形で円売りが優勢となりました。しかし、米中貿易摩擦の激化懸念の再燃等を背景に、再び円高ドル安の展開となりました。2019年10月以降は、市場のセンチメントの改善とともにやや円安ドル高が進みました。香港ドルは米ドルに連動するように固定されているため、対香港ドルでもほぼ同様の推移となりました。一方、人民元は、米中貿易摩擦の激化に伴い中国の景気減速懸念が台頭したことや、中国当局が人民元安を黙認する姿勢を取ったことなどから、ドルに対して下落しました。

■ ポートフォリオについて

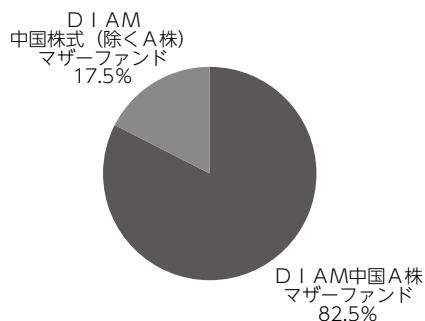
● 当ファンド

D I A M中国A株マザーファンドが70～80%、D I A M中国株式（除くA株）マザーファンドが20～30%を基本配分比率とし、概ねこの割合となるよう、各マザーファンドの組入れを行いました。

● D I A M中国A株マザーファンドおよびD I A M中国株式（除くA株）マザーファンド

銘柄選択については、中間層の所得増加に伴う消費アップグレードや都市化、テクノロジーの活用による新たなサービスの出現といった中国経済の構造的な変化に伴い、その恩恵を受けられるテクノロジー、ヘルスケア、生活必需品といったセクターに注目し、好業績銘柄への重点投資を継続しました。

○ マザーファンド組入比率 ※組入比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。



分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年12月18日 ～2019年12月16日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	6,447円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、中国A株の実質組入比率が70％程度以上となるよう、D I AM中国A株マザーファンドへの投資を行います。また、D I AM中国株式（除くA株）マザーファンドへの投資も行い、実質的な株式の組入比率については高位を維持します。

●D I AM中国A株マザーファンドおよびD I AM中国株式（除くA株）マザーファンド

米国との貿易摩擦は中国の経済活動に対し相応の影響を及ぼすと考えられ、生産活動、個人消費ともに短期的には低調な状態が続くと思われますが、都市化、消費のアップグレード、ヘルスケア需要の高まり、テクノロジーの活用による新たなサービスの出現といった中国経済の構造的な変化は続いていくことが見込まれます。また、緩和的な金融政策に加えて、インフラ投資等の景気刺激策も打たれており、今後は政策の効果が注目されます。今後も貿易摩擦等の影響を注視しつつ、テクノロジー、ヘルスケア、消費、生活必需品といった好業績が見込まれる内需関連株に引き続き重点投資を行う予定です。

お知らせ

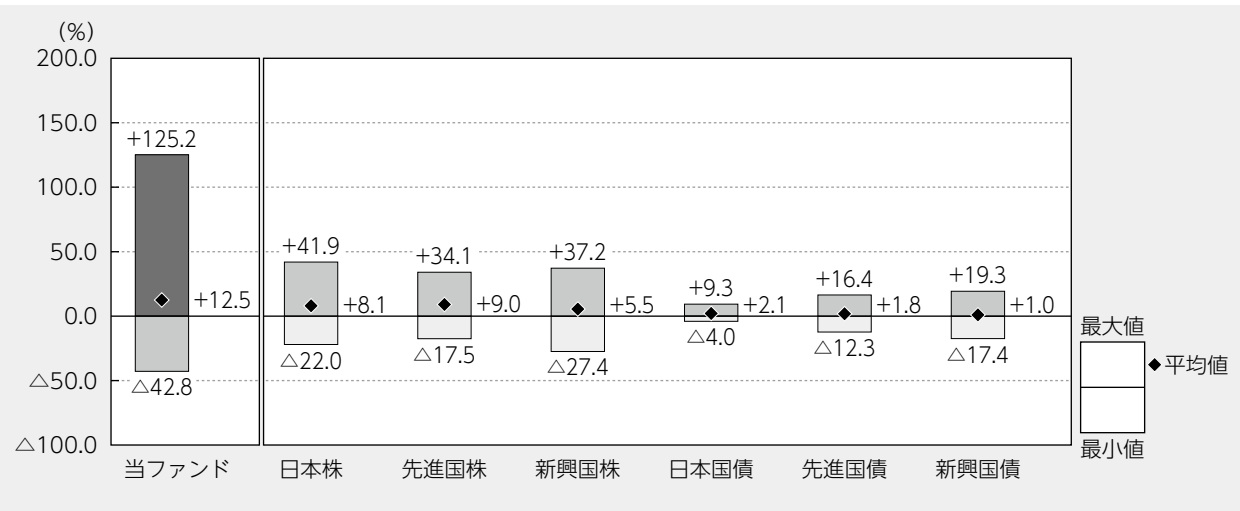
■信託期間を延長し、償還日を2025年12月16日に変更しました。

(2019年9月18日)

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式	
信 託 期 間	2010年12月30日から2025年12月16日までです。	
運 用 方 針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	D I A M中国A株 フ ァ ン ド	D I A M中国A株マザーファンド受益証券およびD I A M中国株式（除くA株）マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M中国A株 マザーファンド	中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の人民元建株式を主要投資対象とします。
	D I A M中国株式 （除 く A 株） マザーファンド	中華人民共和国（香港を含みます。）の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）の株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、中国株に投資します。 中国A株の実質組入比率は、原則として通常時には純資産総額70％程度以上を維持することをめざします。 実質的な株式の組入比率は、原則として高位を保つこととします。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。	
分 配 方 針	決算日（原則として12月16日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年12月～2019年11月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年12月16日現在）

◆組入ファンド等

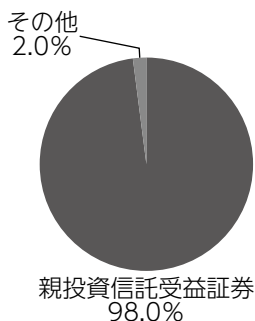
（組入ファンド数：2ファンド）

	当期末
	2019年12月16日
D I AM中国A株マザーファンド	80.8%
D I AM中国株式（除くA株）マザーファンド	17.1
その他	2.0

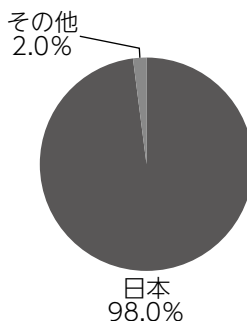
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

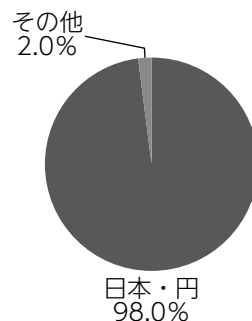
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

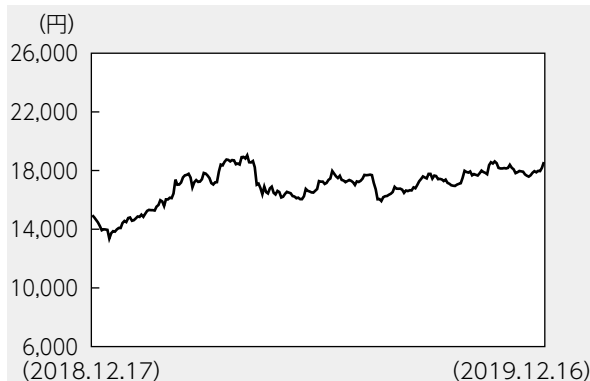
項目	当期末
	2019年12月16日
純資産総額	677,508,530円
受益権総口数	413,878,121口
1万口当たり基準価額	16,370円

（注）当期中における追加設定元本額は243,758,118円、同解約元本額は302,426,862円です。

組入ファンドの概要

[D I AM中国A株マザーファンド] (計算期間 2018年12月18日～2019年12月16日)

◆基準価額の推移



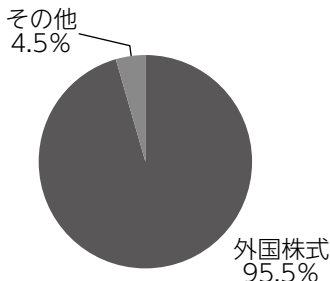
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PING AN INSURANCE GROUP CHINA	中国・元	8.4%
KWEICHOW MOUTAI CO LTD	中国・元	4.2
CHINA MERCHANTS BANK CO LTD	中国・元	4.0
JIANGSU HENGRUI MEDICINE CO LTD	中国・元	3.0
MIDEA GROUP CO LTD	中国・元	2.8
INDUSTRIAL BANK CO LTD	中国・元	2.7
CHINA YANGTZE POWER CO LTD	中国・元	2.4
CHINA INTERNATIONAL TRAVEL	中国・元	2.3
GREE ELECTRIC APPLIANCES INC	中国・元	2.2
PING AN BANK CO LTD	中国・元	2.1
組入銘柄数	83銘柄	

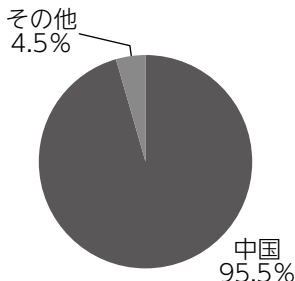
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	35円 (35)	0.205% (0.205)
(b) 有価証券取引税 (株式)	18 (18)	0.105 (0.105)
(c) その他費用 (保管費用)	121 (121)	0.717 (0.713)
(その他)	(1)	(0.005)
合計	174	1.027

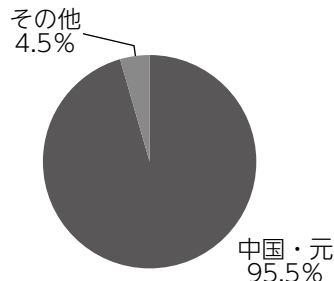
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(16,937円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分については、発行国(地域)で分類しています。

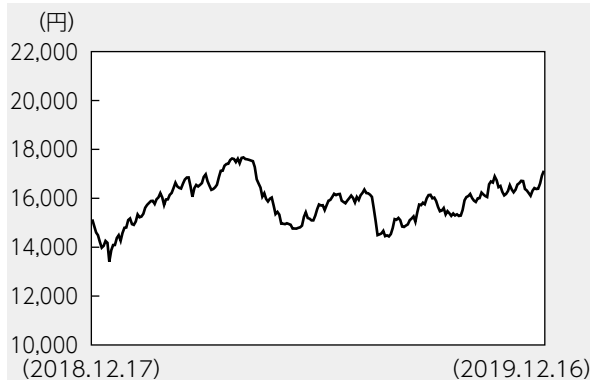
(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【D I AM中国株式（除くA株）マザーファンド】（計算期間 2018年12月18日～2019年12月16日）

◆基準価額の推移



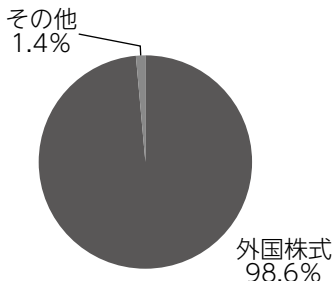
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR	アメリカ・ドル	17.2%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	14.8
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	8.1
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港・ドル	6.2
IND & COMM BK OF CHINA - H	香港・ドル	6.1
CHINA MOBILE LIMITED	香港・ドル	3.7
NEW ORIENTAL EDUCATION & TECH	アメリカ・ドル	3.4
GREENTOWN SERVICE GROUP CO LTD	香港・ドル	2.8
SUNNY OPTICAL TECHNOLOGY GROUP CO LTD	香港・ドル	2.4
SINO BIOPHARMACEUTICAL	香港・ドル	2.2
組入銘柄数	31銘柄	

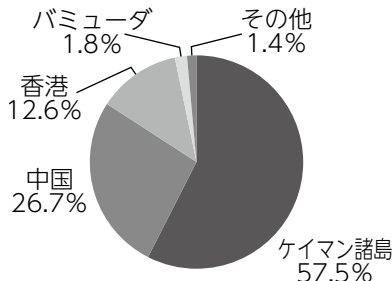
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	21円 (21)	0.130% (0.130)
(b) 有価証券取引税 (株式)	13 (13)	0.080 (0.080)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	129 (128) (2)	0.817 (0.807) (0.010)
合計	163	1.028

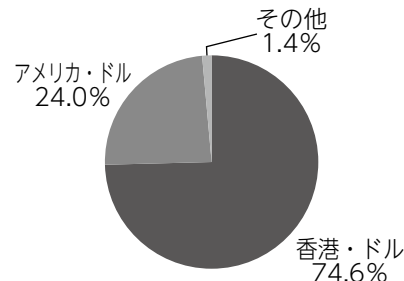
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（15,845円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分については、発行国（地域）で分類しています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

